

## 『同じ地域に学ぶ子どもたちの教育のために 小・中・地域の交流と連携を深めよう』

### I 主題設定の理由

- 同じ地域に学ぶ子どもを教育する立場で、地域が抱える教育課題を共有し、その解決に向けた交流を行う。
- 地域との連携を強化し、「地域の子どもは、地域で教育する」という視点で地域の教育力の向上を図る。
- 小学校・中学校の連携を強化し、小・中の系統的な教育のあり方を研究する。

### II 研究の内容

#### 1 第1回ブロック交流研究会

- (1) 日時 8月6日(月) 13:30～
- (2) 場所 松里中学校
- (3) 目的
  - ・各校の取り組みから学び合う。
  - ・松里中学区の児童・生徒について情報を交換し、今後の指導に役立てる。
- (4) 内容 【小・中学校の情報交換会】
  - 甲州市「確かな学力」育成プロジェクトの学級づくり・集団づくりの取り組みについて(各校研究主任より)
  - 中学校の新生の様子(中学校より)
  - 小学校の児童の様子(小学校より)
  - 地域(松里中学区)についての情報交換

#### 2 第2回ブロック交流研究会

- (1) 日時 11月14日(水) 13:45～
- (2) 場所 井尻小学校
- (3) 目的
  - ・松里ブロック小・中学校教職員が、小学校の授業を観察し、児童の様子を把握する。
  - ・学習や生活の様子を情報交換することで、地域の教育的課題を明らかにし、小中連携して児童生徒の健全な育成を図る。
- (4) 内容 【授業参観】
  - 1年 道徳「はしのうえの おおかみ」 保坂千恵子教諭
  - 2年 体育「マット・とびばこ遊び」 志田市造教諭(雨宮由縁教諭)
  - 3年 音楽「おはやしやせんりつをつくってえんそうしよう」  
中村潤子教諭
  - 4年 図工「アートカードで楽しもう」 吉田美穂教諭
  - 5年 学活「学級力をつけよう」 中村直人教諭
  - 6年 道徳「ふるさとの絆をもう一度」 神宮司剛教諭
  - なかよし 社会「太平洋戦争について知ろう」 阿部かおり教諭

## 【全体会】

### ○校内研究について

①各校の校内研究の概要について（各校研究主任より）

②甲州市「確かな学力」育成プロジェクト〔授業づくり・学級づくり・集団づくり〕の観点から

○児童・生徒の様子について（各校生徒指導担当より）

## 3 第3回ブロック交流研究会

(1) 日時 1月23日(水) 15:00～

(2) 場所 松里小学校

(3) 目的 ・3校の共通の課題について、講師を招いて対応について学び、児童生徒の健全な育成に役立てる。

(4) 内容 【学習会】

「支援を必要とする子ども達を支える校内体制の整え方」

講師 甲府市立東小学校 教頭 土肥 満先生

## III 成果と課題

### 1 成果

- ・小中連携の大切さは日々実感しているところなので、交流を図ることができ良かった。
- ・3回の研究会の内容（授業参観、情報交換、特別支援学習会）が工夫されており、小・小・中の情報交換と共に充実していた。
- ・同地域の子どもの情報交換ができた。小学校の授業参観により、小学校同士では将来中学校で一緒になるであろう同じ学年の子ども達の様子がわかり、どう育てていったらいいのかの視点が持てた。中学校の先生方は高学年の情報を得ていた。
- ・講師を招いての学習会が、抱えている課題に合っていて、大変参考になった。
- ・松里ブロックは3校で構成されているので、3回の研究会の運営を分担できたのは良かった。

### 2 課題

- ・全員が発言できるように、小さい班に分かれて情報交換する時間を設けるなど、会の運営に工夫が必要である。
- ・臨地研修など地域の学習を、1回は取り入れていきたい。
- ・決められた日に決められた学校を授業参観するのもいいが、各校で1日解放日を設定して自由に参観できたら、さらに色々な観点で有意義ではないだろうか。
- ・中学校の授業参観を毎年入れてほしい。卒業した子ども達の様子もわかるし、中学1年生の授業を見ることにより高学年で身につけておかなければいけないこと（課題）も見えてきて参考になるのではないかと。
- ・甲州市確かな学力育成プロジェクトの中身について、さらに意見交換の場を持っていきたい。
- ・できるだけ大勢が参加できる体制を整える必要がある。

(ブロック長 小河真由美)